

授業科目(ナンバリング)	スポーツ実習D (スキー・スノーボード実習) (AB106)			担当教員	中山 忠彦 神野 周太郎		
展開方法	実技	単位数	1 単位	開講年次・時期	1 年・集中	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブラーニングの類型
スノースポーツの代表的なスキーおよびスノーボードの実践を通して、日頃の運動不足を解消し、個々の体力の維持増進をはかり、さらには、身体活動がストレスの解消(リフレッシュ)に効果的であることを理解することを目的とする。また、生涯スポーツの観点から、身体活動を定期的実践する重要性を体験的に学修する。スキーあるいはスノーボードの実践を通して、受講者同士のグループ活動からメンバーシップやリーダーシップといった社会性を養うとともに、雪山、ゲレンデでのマナーや安全管理について理解を深め、安全に活動ができるようにする。							④⑪⑫
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力							
情報収集、分析力							
コミュニケーション力							
協働・課題解決力	生涯にわたってスノースポーツを継続していくことのできる技術を身につけるために、他者と協力し積極的にスノースポーツに取り組むことができる。 雪山での活動のルールやマナーを理解し、安全にスキーあるいはスノーボードができるための必要な技術を習得することができる。				授業態度・授業への参加度 技術習得度・ルールの理解	60% 30%	
多様性理解力	グループ活動を通して、豊かな人間関係、社会性を築くことができる。自然への興味や関心を高めることができる。				授業態度・授業への参加度	10%	
出 席					受験要件		
合 計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
授業態度・授業への参加度を通して積極性をみる(60%)と共に、授業で行う種目に必要な技術の習得度、ルールの理解度等(30%)を評価基準とする。また、自然への興味や関心を高められたか、集団生活を通して豊かな人間関係や社会性を築けたか等(10%)も評価基準とする。フィードバックについては、学生と個別に口頭でやりとりをする中で、理解度、達成度、課題を把握させる。							
授業の概要							
12月に所定の施設にて4泊5日でスノースポーツ(スキーまたはスノーボードを選択)を行う。 種目(スキーもしくはスノーボード)については、学生が希望した種目について期間を通して行う。 学生負担の諸経費の概算:110,000~120,000円(R5実績:北海道アイヌスキー場:航空機代、宿泊、朝食、保険、リフト代) 履修希望者が多数の場合は、抽選となることもある。基本的に全担当教員の指導下で実施する。 この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分とする。							
教科書・参考書							
教科書:特に指定しない 参考書:日本職業スキー教師協会『SIAスキー&スノーボード公式メソッド』2012 全日本スキー連盟『日本スキー教程』2014 指定図書:なし							
授業外における学修及び学生に期待すること							
授業に興味を持ち、積極的に質問や意見をしてほしい。授業で行った内容を一つでも習得し、今後の生活に役立ててほしい。							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	ガイドンス 事前指導 (4月)(10月)	授業の内容・展開方法 評価の方法等に関する説明 実習に必要な装備の説明	予習：シラバスに目を通しておく。 スキー・スノーボード講習に必要な装備の確認を行う。
2	学外実習① (1日目午後)	開講式 オリエンテーション 用具確認	予習：スキー・スノーボード講習に必要な装備の確認を行う。
3	学外実習② (2日目午前)	雪上実習① 基本技術の習得	予習：午前の講習に備えて体調管理を行う。 復習：指導の内容について実技と理論を一致させる。
4			
5	学外実習③ (2日目午後)	雪上実習② 基本技術の習得	予習：午後の講習に備えて体調管理を行う。 復習：指導の内容について実技と理論を一致させる。
6			
7	学外実習④ (3日目午前)	雪上実習③ 安全な滑走技術の習得	予習：午後の講習に備えて体調管理を行う。また、コースマップをもとに、ゲレンデ全体について理解する。 復習：指導の内容について実技と理論を一致させる。
8			
9	学外実習⑤ (3日目午後)	雪上実習④ フォーメーション滑走試走	予習：ゲレンデマップを確認し、翌日のツアーの準備をする。翌日の講習に備えて体調管理を行う。 復習：指導の内容について実技と理論を一致させる。
10			
11	学外実習⑥ (4日目午前)	雪上実習⑤ スキーツアー	予習：午後の講習に備えて体調管理を行う。班別フォーメーション滑走の準備をする。 復習：指導の内容について実技と理論を一致させる。
12			
13	学外実習⑦ (4日目午後)	雪上実習⑥ フォーメーション滑走	復習：指導の内容について実技と理論を一致させる。
14	学外実習⑧ (5日目午前)	閉講式	復習：スノースポーツについての理解をまとめる。
15	事後指導	実習の振り返り	復習：実習を通して学んだ知識や修得した技能を確認する。